

# 高千穂まちづくり公社Q&A

## 質問 「高千穂まちづくり公社」は、どんな役割を果たすの？

高千穂町内の商工、観光、農林、福祉、建設業など様々な産業が持つ優れた技術・知識・経験・人材・資金などの民間活力を効果的に活用し、拡大、多様化する課題にスピード感を持って対応することで、住民にとってより良いまちづくりを目指します。そのためには、様々な産業の共創を加速させるための中心的役割（ハブ機能）が必要となります。「高千穂まちづくり公社」はその役割を担います。



## 質問 「道の駅高千穂」や「鬼八の蔵」はどうなるの？

これまでどおり運営されます。現在の〈道の駅高千穂〉は高千穂町による公営、〈鬼八の蔵〉は、出荷者組合（任意団体）による民営ですが、6月の準備期間を経て7月から「高千穂まちづくり公社」が経営の主体（指定管理者）となります。このことで、出荷者の利便性の向上や商品の融通化が図られるほか、商品の掘り起こしや加工品開発支援を通して商品取り扱い点数を増やすなどお客様にとって魅力的な店舗づくりを目指します。



## 質問 「情報発信事業」って何するの？

高千穂町は、高千穂峡をはじめ神楽などの伝統文化や寺社、農林畜産業、世界農業遺産やエコパークなどテレビや雑誌といったメディアを通じて世界中に情報発信を行ってきました。しかしながら、「人」や「地域の行事」、「地元の人おすすめの食」など、もっと届けたい地域情報がたくさんあります。届けたい情報をわかりやすく整理し各種メディアが取材しやすい環境を整えたり、様々な分野の人が「知ってほしい」を伝える仕組みを構築します。



## 質問 「高千穂まちづくり公社」の活動で町民・地元企業が参加できることはありますか？

ふるさと納税や直売所・道の駅等での地域産品の新規出店や情報メディアを活用し世界に向けた情報発信、様々な分野の担い手対策や起業支援などに参加できます。地域全体と横断的に連携を図り「高千穂町の未来づくり」をテーマに多くの町民の皆さまや地元企業と協働していきます。



高千穂町では、まちづくり公社を町活性化のエンジンとして、地域産品の販売促進、観光誘客に向けた積極的な情報発信など、民間の機動力と柔軟な発想で様々な課題解決を図りつつ、町内事業者の皆様方と共に活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

高千穂町長 甲斐宗之

## 高千穂まちづくり公社設立に向けて



# 高千穂まちづくり公社が誕生します。

(仮称)



## 地域商社とは？

地域商社とは、地域の多くの関係者を巻き込み、農産物などの地域の資源をブランド化し、生産・加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織のことです。(月間事業構想より)

## 高千穂型地域商社の特徴

高千穂町の地域商社「高千穂まちづくり公社(仮称)」の特徴は、町内の物産館「道の駅」、「がまだせ市場鬼八の蔵」の経営、ふるさと納税の事務局、デジタルを活用した情報発信、未来を担う人材の育成・発掘などを中心に5つの機能を持たせ事業を展開します。

- ① 観光業や農林畜産業、中小企業等の地場産業を横につなぐ機能。
- ② 地域や業種を超えて様々な人材や組織をつなぐ機能。
- ③ 地域資源の発掘、磨き上げ。
- ④ 磨いた町の魅力を発信し、蓄積する機能。
- ⑤ 地域経済循環のノウハウを地域全体に浸透させる機能。

本町にしかない地域資源を磨き上

## 設立の時期

高千穂まちづくり公社は、令和4年6月に誕生します。道の駅とがまだせ市場鬼八の蔵は、それぞれ現在の経営からまちづくり公社の経営に代わり、6月中旬にリニューアルに向けて準備を開始し、7月にリニューアルオープン予定です。詳しくは、防災行政無線や町のホームページを通じてご案内します。

## 経営最高責任者の公募

高千穂まちづくり公社の経営責任者となる人材と従業員(若干名)を4月下旬より募集を開始します。勤務条件の他、採用に関する情報については、高千穂町ホームページをご覧ください。



組織(事業)イメージ図

